

飛躍的な進歩へ挑み結ぶ

化学産業



化学製品は高画質、3次元(3D)などテレビの性能向上に貢献(東芝)



第43回国際化学オリンピックで日本代表は好成績を収めた。
左から副島さん、齊藤さん、栗原さん、浦谷さん

化学産業は日本の産業・生活を支えてきた。日本経済の発展は化学なくしては実現せず、現代の飛躍的な進歩する技術開発も化学があつてこそだ。テレビの薄型化、タブレット端末の普及、再生可能エネルギーの創出、そのエネルギーを活用した製品など、さまざまな分野で化学を使つた新たな技術・製品が誕生している。

また、環境負荷を低減させるためにも化学は必要不可欠。国境を越えて企業が手を取り合い、新技術の開発に挑戦し続けている。

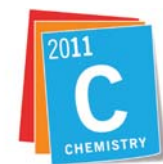
こうした技術発展を担う若者への期待は高い。理科離れが懸念される中、世界へ挑戦する若者も大勢いる。7月にトルコ・アンカラで開催された「第43回国際化学オリンピック」では日本から浦谷

浩輝さん、栗原沙織さん、齊藤颯さん、副島智大さんの高校生4人が参加。金メダル1個、銀メダル3個の成績を収めた。国際化学オリンピックは自分たちが持つ力を発揮するだけでなく、海外の学生・文化と触れ合い、大きく成長する機会となる。来年7月に開かれる米国大会に向け、高校生27人の候補者は代表生徒四つの座を争い、強化訓練・選抜試験に挑む。

今年は世界化学年。マリー・キュリー氏がノーベル化学賞を受賞してから100年に当たる。化学を広く知ってもらうために子供から大人まで幅広い年齢層向けに多数のイベントが行われている。世界化学年をきっかけに化学を見つめ直し、これからの日本に必要なものを考えていく大事な年となる。



再生可能エネルギーを活用して地球への負荷を減らす



International Year of
CHEMISTRY
2011

今年は世界化学年

暖かな家と光熱費のいい関係

これまでの断熱システムや断熱材より費用対効果も、断熱効果も高い。それがBASF(ビー・イー・エス・エフ)の建設ソリューションや、エネルギー効率に優れた建設資材の特長です。私たちのNeopor®(ネオポール)やElastopor®(エラストポール)のような製品を使えば、寒い冬でも、より少ないエネルギーで暖かく暮らすことができます。排出ガスを減らすことが、光熱費を減らすことにつながるでしょうか? BASFの答えはイエス。私たちは化学でいい関係を作ります。
www.basf.com/chemistry



BASF
The Chemical Company